

議題 3

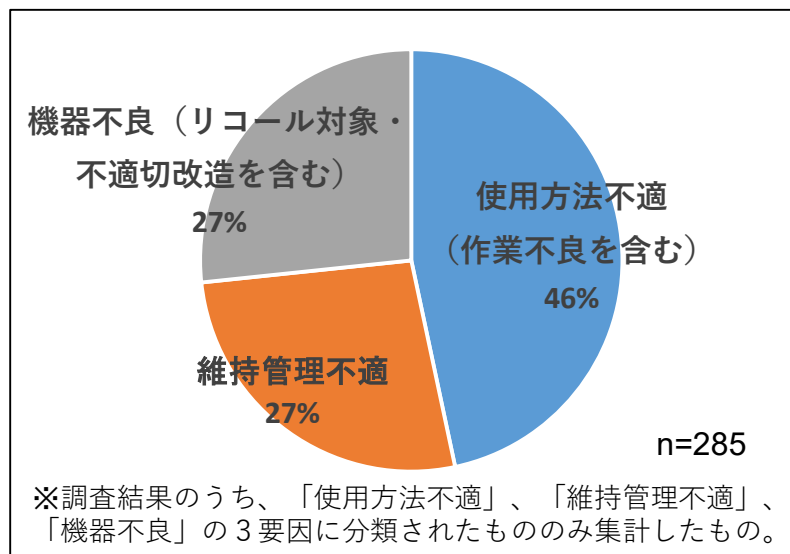
実態調査の結果を踏まえた広報等について

住宅における電気火災に係る防火安全対策検討会（第 2 回）

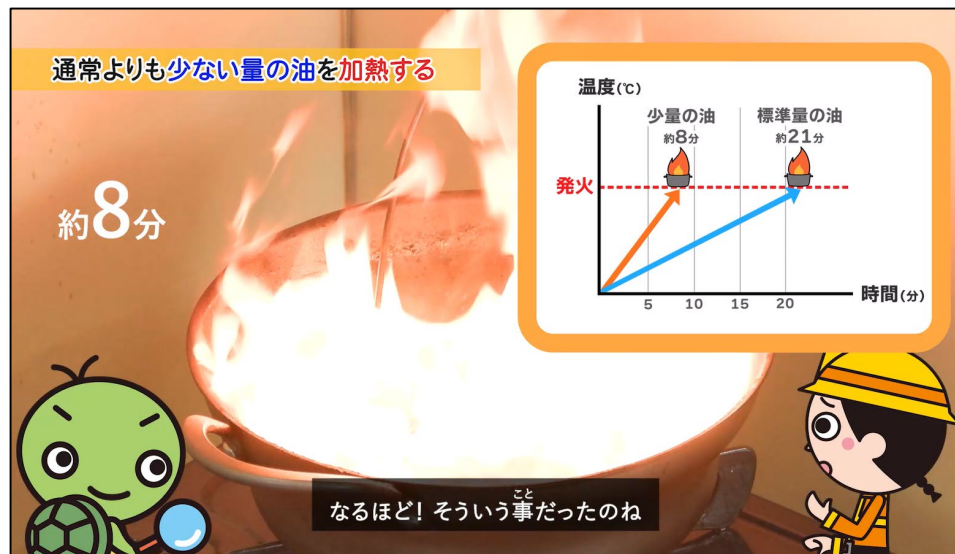
実態調査の結果を踏まえた広報等について

- 電気器具類の実態調査から、電気器具類を原因とする住宅火災は大きく分けて「使用方法不適」、「維持管理不適」、「機器不良」の3要因により発生していることが確認された。
- 特に、「使用方法不適」、「維持管理不適」の2要因については使用者・所有者に対して注意喚起を行うことで火災を減らすことができる可能性が高い。
- そこで「使用方法不適」、「維持管理不適」の2要因について、今回の調査から得られた火災に至るシナリオをもとに、通常想定される家庭内での具体的な使用状況を再現した広報用映像等を作成することで、火災予防につなげることができるのではないかと。

電気器具類を原因とする住宅火災の要因別の割合



(参考) 消防庁が昨年度作成したこんろ火災予防のための映像資料「たしかめくんとポウサイちゃんのこんろ火災防止大作戦！」



広報映像のための火災シナリオ（案）

- 広報用映像のための火災シナリオについて、実態調査で明らかとなった火災事例から、使用者や所有者の注意により防ぐことができ、通常想定される家庭内で使用に伴う火災の事例を広報映像のための再現火災のシナリオとしてはどうか。
- 具体的なシナリオは以下のとおり。

リチウム電池（リチウムイオン蓄電池を除く。）

絶縁処理未実施での保管（維持管理不適）

- ・ ごみ箱に廃棄されたリチウム電池が電池同士で接触することで短絡し、出火に至る映像。
（使い終わった電池でも、絶縁をせずに廃棄をした場合に火災に至る可能性があることを注意喚起）

充電式電池（リチウムイオン蓄電池を含む。）

※充電式電池のうち、近年、広く普及しているリチウムイオン蓄電池を対象とする。

破損

- ・ 落下・浸水した破損したモバイルバッテリーが出火に至る映像。
（リチウムイオン蓄電池は精密機器であり、衝撃等により出火する可能性があることを注意喚起）

加熱

- ・ モバイルバッテリーが暖房器具の温風により加熱されたことで出火に至る映像。
（リチウムイオン蓄電池は熱に弱く、加熱により出火する可能性があることを注意喚起）

電子レンジ

過熱・誤加熱

- ・ 食品（さつまいもや肉まんなどを想定）が過熱により出火に至る映像。
- ・ アルミ箔で包装された食品を電子レンジで加熱し出火に至る映像。

清掃不良

- ・ 電子レンジの庫内に多量の油脂が付着した状態で使用したため出火に至った映像。
（火を使わない電子レンジであっても、過熱・清掃不良により出火の可能性があることを注意喚起）

【器具付きコード】 【コード】 【テーブルタップ】 【プラグ】

半断線

- ・コードが家具に踏みつけられたことで出火に至る映像
- ・コードが折り曲げて使用されていたため半断線となり出火に至る映像。

定格電力を超えた使用

- ・延長コードに複数の使用電力が大きい機器（ドライヤー・暖房機器等）を接続し、定格電力を超えて使用したことにより出火に至る映像。

コードを束ねた状態での使用（ジュール熱の発生）

- ・コードを束ねた状態で、使用電力が大きい機器を接続し、使用することで出火に至る映像。

接触不良

- ・コンセントにプラグ（インレット）を不完全な状態で差し込み使用したことで出火に至る映像。

清掃不良・異物侵入

- ・コードのプラグ（インレット部分）及びコンセントの差し込み口（アウトレット部分）部分に、清掃不良により埃などが不着することで、トラッキングが発生し出火に至る映像。
- ・コンセントの差し込み口（インレット部分）部分にコップの水をこぼす・子供が異物を挿入することにより、トラッキングが発生し出火に至る映像。